

マルヤナギが JA みのり・加東市と一緒に育てたもち麦を、社中学生徒自ら取材・調査 地元中学生が「加東市産もち麦」を PR

地域に学ぶ体験活動「NEWトライやる・DAY」の取り組みで

日時：2020年10月22日（木）13：30～14：00 会場：加東市立社中学校

蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区：代表取締役社長 柳本一郎）は、加東市立社（やしる）中学校（校長：辻田昇司）2年生生徒が「NEW トライやる・DAY」の活動の一つとしてマルヤナギが JA みのり・加東市と一緒に育てた「もち麦」について取材・調査をするにあたり、工場見学や生徒による取材対応等でこの活動に協力してまいりましたが、このたび、社中学校生徒が今回の取材・調査結果をまとめた発表会「加東市の PR」を開催することとなりました。

この活動は、例年実施している中学生による職場体験、福祉体験、勤労生産活動「トライやる・ウィーク」が、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動内容を変更し「NEW トライやる・DAY」として地域に貢献できる活動を実施することとなったものです。

開催概要

- 日 時：2020年10月22日（木）13:30～14:00
- 会 場：加東市立社中学校（兵庫県加東市木梨 1134-62）
- 内 容：「NEW トライやる・DAY」は社中学2年生145名が8つの班に分かれ、清掃ボランティアや募金活動、稲刈りの手伝いやおもちゃ製作など、それぞれ同日に活動を行います。

そのうち1つの班については、生徒自ら取材・調査を行い、「加東市を PR する発表」を行います。

・『加東市を PR する発表』内容

- ①「食」に関する PR（※もち麦について） ②「住」に関する PR
- ③「自然」に関する PR ④「教育」に関する PR

※取材のお問い合わせはマルヤナギ小倉屋までお願いいたします。



2020年9月 生徒らによる取材の様子

<参考> 関連情報

■ JA みのりとの加東市でのもち麦栽培について

加東市に本拠を置く JA みのりの協力を得て、2017年秋からもち麦栽培が始まりました。3年目の2019年には、加東市内の作付け面積は前年度の約3倍、約90haに増え、2020年5月の収穫は、気候にも恵まれ予想を上回る豊作となりました。



2020年5月 市内もち麦畑の様子

■ 加東市とマルヤナギの地域連携協定（2019年7月22日）

JA みのりとの加東市内でのもち麦栽培の進展を受け、マルヤナギは加東市産もち麦の特産品化、もち麦を活用した町づくりの推進等への協力を加東市へ申し入れ、加東市もそれを歓迎するかたちで連携協定を締結する運びとなりました。SDGs（持続可能な開発目標）の推進を視野に含み、もち麦栽培の振興と特産品化、商品化、市民の健康づくりサポートなど、様々な形で地域貢献が進みつつあります。